

①ライチ<sup>チ</sup>のひなたん生の記じを讀んで

黒部市立三日市小学校 二年

長谷川 真子

ライチ<sup>チ</sup>ウのひながたまごの内がわからつ  
ついで生まれそうだよと、テレビで言つて  
いた日、わたしのメダカも、たまごからかえ  
りました。ライチ<sup>チ</sup>ウは日本のたからものだ  
から、生まれてきてうれしかつたのと、わた  
しのメダカとおなじ日に生まれて、もつとう  
れしかつたです。

ライチ<sup>チ</sup>ウをそだてた人は、ぶい<sup>い</sup>に生まれ  
るか、ぶい<sup>い</sup>にそだてられるか、しんぱいで  
どきどきしたと思います。なぜなら、わたし  
もメダカの赤ちゃんをぶうしてそだてればい  
いのかわからないし、赤ちゃんがあんまり小  
さくて、いのちがよわそうで、とつてもしん  
ぱい<sup>い</sup>だつたからです。

わたしのメダカは、夏があつすぎて、十三  
びきいたのが少しずつしんでいつてしまいま

した。えさをたくさんあげすぎたかな。お水をかえなきゃよかったかな。さいごの一日は大きくなってくれてほしかったけど、七月三十日の朝、なくなりました。

かなしくて、かっくりしていた時、この記じを見て、びっくりしました。あのライチヨウさんたちは、元気にそだってくれたんだ。と、いっくんさんもかんぱったんだろうなあ。と思います、うれしいきもちがわいてきました。わたしのメダカのおとも、元気にこれからそ

だつてほしいと思いました。

生きものをそだてることは、とってもむずかしいです。とくに赤ちんぼ、しんぱいでこわいです。でも、生きてくれているのを見れると、みんなしあわせになると思います。しいくいんさんかそだてたら、チヨウカ、山にかえれたらいいなあ、山にライチヨウかふえたらいいなあと思います。これからもおうえんしたいです。